



TITLE:

製鐵業ノ獎勵

AUTHOR(S):

戸田, 海市

CITATION:

戸田, 海市. 製鐵業ノ獎勵. 經濟論叢 1917, 5(2): 240-259

ISSUE DATE:

1917-08-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127244>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

經濟論叢

號 二 第

卷 五 第

行發日一月八年六正大

論 說

營業稅ヲ賦課スヘ營業ノ範圍……………法學博士 神戸 正雄

純粹資本(資金)ト資本財……………法學博士 河上 肇

中壽ノ說(三、完)……………法學博士 財部 靜治

現代的保險ノ成立(三)……………法學士 小島昌太郎

時事問題

製鐵業ノ獎勵……………法學博士 戸田 海市

支那ノ裁厘加税問題……………法學士 木村増太郎

雜 錄

歐洲戰亂ノ南米ニ及ボ影響……………山本美越乃

ゆこ・すらう民族運動(二)……………米田庄太郎

福島山形二縣ノ製絲業……………法學士 河田 嗣郎

臺灣^{人口統計}統計十年報ヲ讀ム……………文學博士 内田 銀藏

戰時利得稅ノ諸例……………法學博士 神戸 正雄

學界ノ巨人^{しゆ}もらゝ逝ク……………法學博士 神戸 正雄

時事問題

製鐵業ノ獎勵

戸田 海市

一 獎勵ノ理由

世人カ一般ニ今後國內ニ發達セシムルコトヲ必要ト認ムル事業ノ中、金屬工業就中其基礎材料ヲ生産スル所ノ製鐵業ハ其ノ最モ重大視スル所テアル。製鐵業就中銑鐵ヲ生産シ、又ハ製銑ト共ニ種々ノ鋼材ヲ生産スル事業ヲ國內ニ發達セシムルコトノ國防上ニ必要ナルハ勿論テアルガ、更ニ經濟上ヨリ見ルモ從來我國ニ製鐵業ノ不振ナルカ爲メニ建築材料及機械類ハ重ニ輸入ニ仰キ、之カタメ諸事業ノ新設擴張ヲ圖ルニ方ツテモ、多クノ場合ニハ先ツ此等ノ生産財ヲ外國ニ注文スルコトヲ必要トシタガ、外國ニ生産セラレタモノハ注文者ノ要求ニ完全ニ一致セサル場合アルノミナラズ、注文品ノ到着スルマテニハ少ナカラサル時間ヲ要スル。然ルニ諸事業ノ新設擴張カ盛ンニ行ハレ、之カ爲メ外國ニ生産財ノ注文ヲ發スルコトヲ必要トスルニ至ルハ、通例世間一般ノ景氣ノ昂進又ハ特定事業ノ生産物ニ對スル世間ノ需要増進ノ初期ヲハナクテ殆ント其絶頂ニ達シタ

頃テアル。故ニ註文ノ生産財カ到着シテ生産設備ノ完成シタ頃ニハ最早ヤ世間ノ需用ハ停滯又ハ衰退ニ傾キ、之カ爲メ獨リ事業發展ノ好機ヲ逸スルノミナラス、生産過剰ヲ生シテ甚キ悲境ニ陥ル場合モ少ナクナカツタ。若シ國內ニ製鐵業其他ノ金屬工業カ隆盛テアルナラハ、諸事業ハ常ニ好機會ニ乗シテ發展シ、世間ノ需用ノ尙ホ旺盛ナ間ニ充分ノ利益ヲ得テ事業ノ基礎ヲ固メ、亞テ來ル所ノ不況時代ニモ能ク事業ヲ維持シ、更ニ好景氣ノ恢復ニ乗シテ一層ノ發展ヲ爲シ得ルノテアル。現代ノ經濟界ニ於テハ景氣不景氣ノ變化カ絶ヘス迅速ニ行ハルル故、一國ノ事業ヲ大ニ發展セシムルニハ、之ヲシテ常ニ機會ヲ逸セサラシムルコトヲ必要トスルノテアルガ、不幸ニシテ國內ノ金屬工業ノ幼稚ナル爲メニ我國ノ諸事業ハ屢好機會ヲ逸シ、其新設擴張ヲ爲スコトハ頗フル危險ナ事柄ト見做サレ、之カタメ投資起業ノ活動ヲ萎縮セシムルノ弊カアツタ。故ニ經濟上ヨリ見テモ國內ニ製鐵業其他ノ金屬工業ヲ發達セシムル爲メニ國民ハ相當ノ負擔ヲ辭スヘキナイ。

然ラハ我國ニ製鐵業ヲ發達セシムルノ望アリヤト云フニ、國內ニ於ケル鐵礦ハ甚タ貧弱テアルカラ、製鐵業ヲ發達セシメントスレハ外國就中支那ノ鐵礦ニ依頼セネハナラヌ。又我國ハ製鐵ニ必要トスル所ノ石炭ノ供給ニ付テモ特ニ豊富ト云ヒ難ク、工業ノ勃興ニ伴フテ次第ニ其供給ノ不足ト價格ノ騰貴トヲ來タシツツアルノミナラス、其炭質モ製鐵ニ適當トハ云ヒ難ク、一部分外國炭

ヲ輸入シテ之ヲ混用スルコトヲ必要トスル、故ニ如何ナル獎勵策ヲ行フモ將來我國ヲシテ世界ノ重要ナル製鐵國タラシメ、又鐵ヲ以テ我國ノ重要輸出品タラシムルコトノ困難ナルハ爭ハレナイ。併シ乍ラ對岸ノ支那ニ於テハ既往ノ不完全ナル探險調査ニ由ルモ鐵礦及石炭ハ頗フル豊富ニ存在シ、其生産費モ今日マテノ經驗ニ由レバ歐米ニ比シテ安クトモ高イ方テハナイカラ、之ニ依テ我國内ニ製鐵業ヲ發達セシムルコトハ不能テナイ。只タ鐵礦モ石炭モ運賃ヲ要スルコトノ大ナルモノテアル故、銑鐵ノ生産ハ須ラク之ヲ支那ニ於テ盛ナラシメ、我國ニ於テハ之ヲ支那其他ヨリ輸入シテ製鋼事業ヲ起スコトヲ得策トセサルヤノ問題カ起ル。今後東洋ニ於ケル製鐵業ノ發達ハ或程度マテ此ノ如キ方向ヲ取ツテ進ムコトトナルテアラウガ、併シ國防上ヨリ見レハ基本材料タル銑鐵ヲモ成ルヘク我が國內ニ發達セシムルコトカ有利テアリ、特ニ一朝大陸トノ交通ノ斷タレタ場合ニモ國內ニ充分ナル銑鐵生産ノ設備カ存在スルトキハ、國內ノ鐵礦ヲ利用シテ急需ニ應スルコトモ出來ル。加之同一ノ工場ニ於テ製銑ト製鋼ヲ兼營スルトキハ、技術上銑鐵ノ生産ヲ終ツテ未タ其熱ノ冷却セサル間ニ直テニ之ニ加工シテ鋼材ヲ作レハ大ニ生産費ヲ節減スルノミナラス、經濟上市況ノ如何ニ由テ或ハ銑鐵ノ市場供給ヲ多クシテ製鋼ノ割合ヲ減少シ、又ハ反對ニ銑鐵ノ販賣ヲ減シテ製鋼ノ割合ヲ増加シ、以テ收益ノ平均ト増加トヲ圖ルノ方法ヲ採リ、彼ノ製銑又ハ製鋼ノ一方ヲ主トスル工場ヨリモ有利ノ地位ニ立ツコトカ出來ル。又外國就中支那ヨリ鐵礦及石炭

ノ輸入カ大量ニ行ハルルニ至レハ其運賃ヲ大ニ低減セシムルコトモ不能ナナイ。此等ノ點ヨリ考フレハ國內ニ於テ製銑ヲ主トスル所ノ製鐵業ヲ大ニ發達セシムルコトハ甚ダ困難デアツテモ、製銑製鋼ヲ兼營スル事業ヲ發達セシムルコトハ必シモ困難ナナイ。

二 獎勵ノ方法

若シ國內ニ於テ製鐵業就中製銑ヲ基礎トスル所ノ製鐵業ヲ發達セシムルノ見込ナシトスレハ、國防ノ獨立安固ヲ圖ル爲メ財政上ノ損失ヲ顧ミスシテ官設製鐵所ノ規模ヲ成ルヘク擴張シ、又半官的ナル南滿洲鐵道會社ノ着手シツツアル製鐵業ヲモ成ルヘク大規模ニ經營セシムルト同時ニ、民間需用ノ鐵ニ付テハ自由貿易ヲ認ムルコトヲ得策トスルノテアルガ、上述ノ如ク之ヲ國內ニ發達セシムルノ堅アリトスレハ、如何ナル保護獎勵ノ方法ヲ探ルヘキヤカ問題トナル。我國ニ於テハ兼テヨリ國家カ製鐵業ヲ經營シテ國防上或程度マテ鐵ノ自給ヲ圖ルト同時ニ、其製鐵所ヲ民業ニ對シテ模範工場タラシムルノ方針ヲ採リツツアル。此方針ハ當ヲ得タモノテアルガ、只々民間ニ於テ製鐵業ノ起リ難キ時代ヨリ夙ニ鐵ノ輸入ニ對シテ保護關稅ヲ設ケ、之カ爲メ保護關稅ハ事實上國家自身ノ製鐵業ヲ保護シ、國民ハ高價ナル鐵ヲ使用シテ生産ヲ營マサルヲ得サルノ不利ヲ蒙ムツテ居タ。然ルニ歐洲戰爭以來民間ニ於テモ大ニ製鐵業勃興ノ勢ヲ呈シテ來タガ、此際官設製鐵

所カ模範工場トシテ技術上ノ指導援助ヲ與ヘ、特ニ熟練セル技師職工ヲ民間ニ供給スルコトヲ以テ足レリトスルヤト云フニ、單ニ此程度ノ獎勵方法ノミニテハ民間ニ製鐵業ヲ起スコトヲ一般ニ躊躇スル。官設製鐵所ハ戰前既ニ外國製鐵業ト競争シテ幾分ノ利益ヲ擧クルマテニ進ンテ居タガ、是ハ獨リ多大ノ經費ヲ投シテ長日月ノ經驗ヲ積ミタルノミナラス、自カラ有利ノ炭坑ヲ所有シテ低廉ナル石炭ヲ使用シ、又鐵鑛及銑鐵モ特ニ低廉ノ供給ヲ受クル有利ノ契約ヲ支那ト結ンテ居ル爲メテアルガ、今後民間ニ製鐵業ヲ起ス場合ニハ獨リ經驗ノ不足セルノミナラス、鐵鑛及石炭モ官設製鐵所ノ如ク有利ニ取得スルコトカ困難ナル。故ニ民間ニ製鐵業ヲ發達セシメントスレハ此際他ニ何等カノ獎勵方法ヲ講セネハナラス。

民間ノ製鐵業ヲ助長スル爲メ大ニ保護關稅ヲ增加スヘシトノ說ハ汎ク行ハレテ居ルヤウテアルガ、國內生産ノ發達ヲ必要トスル所ノ銑鐵及薄鐵板ニ付テハ英國トノ通商條約ニ由ル稅率ノ協定カアツテ保護稅ノ増加ヲ許ルサナイ。加之鐵鑛ノ貧弱ニシテ石炭モ豊富ト云フヲ得サル我國カ、歐米先進國ノ如ク製鐵業ヲシテ紡績業ト相並ンテ基本工業タラシムルコトハ困難テ、鐵材ヤ機械ヲ使用シテ他ノ加工業ヲ營ムコトヲ我國ノ長所トスルノテアルガ、從來歐米ニ比シテ鐵ノ高價ナルコトカ大ニ我産業ノ發展ヲ妨ケツツアル。然ルニ此際鐵ノ輸入稅ヲ増加シテ更ニ之ヲ高價ナラシムルトキハ我産業ノ發達ハ重大ノ不利ヲ蒙ムラネハナラス。又戰後諸外國ハ大ニ輸入稅ヲ新設

増加シテ産業ノ自立ヲ圖ラントシ、之カ爲メ我國ノ貿易ハ重大ノ打撃ヲ蒙ルノ危險カアル故、我國ハ極力之ヲ牽制シテ門戸ヲ開放セシムルノ必要カアル。此目的ヲ達スルカ爲メニハ我國自身モ直接ニ輸入品ヲ排斥スル所ノ保護税ノ増加ハ出來得ル限り之ヲ避ケ、國內産業ノ獎勵ノ爲メニハ他ノ方法ヲ探ルコトヲ得策トスル。

製鐵業ヲ發達セシムル爲メニ模範工場トシテノ官設製鐵所ノ援助ト保護關稅トノ外ニ直接ノ效果アル重要ノ方法ハ積極的ニ生産高ニ應ジテ生産獎勵金ヲ與ヘ、利益配當ヲ補給シ、又ハ定額ノ補助金ヲ交付スルカ、若クハ消極的ニ租稅公課ヲ減免スルコトヲアツテ、共ニ國庫ノ負擔ニ由リ事業ヲ獎勵スルモノテアルガ、今回政府ノ議會ニ提出セル製鐵業獎勵法案ハ租稅免除ノ方法ヲ採用シタ。此ノ積極消極ノ諸方法ハ種々ノ長短ヲ有スルガ、今日ノ製鐵業獎勵方法トシテハ政府案ノ如ク免稅ヲ以テ得策トスル。先ツ定額補助金下付ノ方法ニ付テ見ルニ、此方法ニ由レハ國庫ノ負擔カ豫シメ一定セル故財政上ニ便利テアルガ、其ノ生産獎勵ノ效果少ナク、補助事業ノ理事者ヲ官選ニスルコトニ由リ特別ニ嚴重ノ監督ヲ行フカ如キ場合ノ外ハ此方法ヲ採用シ難イ。又補助事業カ單一テナクテ規模ニ大小ノ差アル數多ノ事業カ並ヒ存スル場合ニハ、之ニ對シ凡テ同額ノ補助金ヲ下付スルコトハ無意義ヲアツテ、各事業ノ生産高又ハ資本高等ニ由リ補助金額ノ多少ヲ定ムルコトヲ要シ、從ツテ其補助金ハ生産獎勵金又ハ配當補給等ニ類似スルコトナルガ、而モ其

ノ事業獎勵ノ效果ハ此等ノ方法ニ及ハナイ。

配當補給ノ方法ハ企業者ニ取ツテ最モ安全ナモノテアルガ、事業ノ改良進歩ヲ促カスノ效果ハ甚タ少ナク、又此方法ヲ行フカ爲メニ政府ハ補助事業ノ會計ニ付キ嚴重ニ監督シテ收支ノ實情ヲ明カニスルコトヲ要シ、無用ノ經費ヲ支出シテ國庫ニ損失ヲ及ホスコトヲ防ク爲メニハ餘程事業ノ内部ニ立入ツテ監督セネハナラヌ。從ツテ企業者モ頗フル窮屈テアツテ之カ爲メ往々事業ノ自由ナル發展ヲ妨クル弊害モ起ル。又財政上ヨリ見ルニ此方法ハ事業ノ進歩ニ伴フテ國庫ノ負擔ヲ輕減スルノ利益アリトハ云ヘ、其ノ年々ノ負擔額カ可ナリ變動スルノ不便カアル。故ニ此方法ハ化學染料及醫藥品ノ生産事業ノ如ク殆ント全ク無經驗ノモノニシテ、之ヲ起スニハ甚大ノ危險ヲ冒スコトヲ要スル場合ニ於テ已ムヲ得ス採用スルノテアルガ、官設製鐵所ノ多年ノ經驗ヲ利用シ得ル所ノ製鐵業ヲ獎勵スル爲メニハ必要ト云フヲ得ナイ。生産ノ單位ニ對シ定率ノ補助金ヲ與フル所ノ生産獎勵金ノ方法ハ生産ヲ獎勵スルノ效果カ頗フル大テアルガ、國庫ノ負擔ハ年ト共ニ増加シ且ツ年々ノ負擔額ヲ豫見シ得サルノ不便カアル。加之此方法ニ由レハ事業創設ノ初期ニ於テ企業者カ收益ノ不足ニ苦シム際ニハ補助ヲ與フルコト少ナク、事業ノ發展ニ由リ補助ノ必要ヲ減スルニ從フテ補助金ハ却ツテ増加スルト云フ奇怪ノ結果ヲ生スル。

今回政府案ノ採用セル如ク租税ヲ免除スル方法ニ付テ見ルニ、免稅ニ由リ企業ノ最モ多ク利益ヲ

受クルハ營業稅ノ免除テアル。製鐵業ノ如キ工業ニ對スル現行營業稅ハ其事業ノ規模ニ由リ初メヨリ稅額カ略ホ一定セル故、之カ免除ハ事業經營ノ困難ヲ感スル創業ノ初期ヨリ相當ノ消極的補助ヲ與フル結果トナリ、而モ配當補給ノ如ク補助事業ヲ監督スルノ不便ヲ生シナイ。政府案ノ如ク營業稅ノ外ニ所得稅ヲ免除スルコトニ付テハ多少ノ異論モアルヤウテアルガ、今日製鐵業ヲ創設スルニ付テハ初メヨリ多大ノ純益ヲ得ルノ見込ハナク、例令ヘ多大ノ缺損ヲ生スルコトヲ免レ得ルトスルモ、當分其純益ハ普通ノ配當率ヲ維持スル程度ニ達シ得ルヤカ疑問テアル。故ニ創業ノ初期ニ於テ所得稅ヲ免除スルコトトスルハ起業ヲ促カスタメニ必要テアル。只タ既ニ相當ノ配當ヲ爲シ得ルニ至ツタ後ニハ、所得稅ヲ免除スルコトヲ以テ事業ノ維持ニ必要ト云フヲ得ナイ。

固ヨリ此時期ニ及ンテモ尙ホ之ヲ免除スルコトトスレハ、企業者ハ事業ノ改良進歩ニ努メテ一日モ早ク免稅ニ由ル利益ヲ擧ゲントシ、之カ爲メニ事業ノ進歩ヲ促カスノ效果カアル、併シ乍ラ此種ノ特典ヲ永ク繼續スルコトハ不當テアルガ、政府案ハ之ヲ十年間ニ限レル故別段ノ弊害ヲ生スルコトハナイ。財政上ヨリ見レハ此方法モ矢張り國庫ニ損失ヲ及ホスモノト稱ヘラレルガ、併シ製鐵業ノ場合ノ如ク免稅ニ由ル獎勵方法カナカツタナラハ事業力起ラス、從ツテ國庫モ之ニ課稅シテ收入ヲ得ル能ハサル場合ニハ、此方法ニ由リ國庫ハ何等ノ損失ヲ蒙ルモノテナイ。只タ今日製鐵業ノ獎勵方法トシテ政府案ノ如キ免稅方法カ果シテ實際ニ過不及ナキ適當ノモノナ

ルヤ否ヤハ疑問テアツテ、恐ラク何人モ之ニ付テ確的ニ判斷スルヲ得マイ。製鐵業ヲ創設スルニハ先ツ支那ヨリ鐵鑛ヲ得ルノ途ヲ講セネハナラヌガ、如何ナル條件ヲ以テ之ヲ手ニシ得ヘキヤ、又工場ノ建設ニ必要ナル建築材料ヤ機械ヲ購入スルノ費用ニ何程ヲ要スヘキヤヲ豫想スルコトモ甚タ困難ナル。只タ戰後ニ於テモ當分鐵ハ相當ニ高價ヲ維持スルノ形勢カアル故、政府案ノ如キ免稅方法ヲ設クルコトトスレハ、民間ニ於テ製鐵業ノ新設擴張ヲ企テル者カ少ナクアルマイ。支那ノ秩序ノ紊亂セル今日ニ於テ直チニ鐵石銑鐵ヲ得ルハ困難ナルガ、其秩序ノ恢復シタ曉ニハ之ヲ得ルコトカ必シモ困難テナイ。只タ之ヲ得ルノ難易ハ我カ對支外交策ノ如何ニ關係スルコトノ大ナルハ注意ヲ要スル。近來支那ニ於テハ利權回收及國產獎勵思想ノ勃興ニ由リ鐵鑛ヲ外國ニ供給スルヨリモ、之ヲ以テ自國內ニ製鐵業ヲ起サントシ、特ニ從來我國カ支那ニ對シテ高壓的ノ政策ヲ採ツテ其恐日又ハ排日思想ヲ強メタ爲メ、國防上ニ重大ノ關係アル鐵ヲ我國ニ與フルコトヲ好マサル傾カアリ、現ニ小鐵區ヲ内外人合併ニテ經營スルコトヲ禁止スルノ法案ヲ議會ニ提出シ、以テ實際ニ我國人ノ支那ノ鐵鑛ニ手ヲ下タスコトヲ妨ケントスルノ運動モ起ツテ居タノテアル。又我國カ支那ニ對シテ過去ニ於ケルカ如ク高壓的態度ヲ採ツテ其利益ヲ獨占セントスルトキハ、支那ノ天然資源ニ着眼セル歐米人カ支那ニ於ケル如上ノ排日思想ヲ利用セントスルハ言ヲ待タヌ。

最後ニ製鐵業獎勵方法トシテ國家公共團體ノ鐵ノ需要ハ事情ノ許ルス限リ國內生産ヲ使用スルコトモ有效ナル一方法テアル。國家公共團體ハ國內ニ於ケル鐵ノ需用者ノ最モ大ナルモノテアルカラ、其需用ヲ國産ニ由テ充タスコトスレハ、國內製鐵業ノ地位ハ大ニ安固トナル。勿論此方法ヲ行フニハ程度カアツテ、之カ爲メニ國家公共團體ノ經費ノ過大ノ膨脹ヲ來タスコトヲ避クルノ必要アルノミナラス、官紀ノ紊亂腐敗ヲ防クコトヲ要シ、又國內ノ鐵製品供給者カ合同結束シテ暴利ヲ貪ルコトヲモ防カチハナラス。鐵ノ需用者トシテ國家公共團體ニ次テ重要ノモノハ造船業テアル。今次ノ戰爭ニ乘シテ大ナル發展ヲ爲シツアル造船業ノ鐵ニ對スル今後ノ需用ハ頗フル巨額ニ上ルテアラウ。而シテ現行ノ造船獎勵制度ハ之ヲ改正スルコトヲ要スルテアラウガ、一部ノ論者ノ主張スル如ク其獎勵方法トシテ輸入造船材料ニ對スル戻稅ヲ行フコトヲ主トシ、之カタメ造船業ノ國産鐵材ニ對スル需用ヲ減退セシムルトキハ、製鐵業ハ大ナル打撃ヲ受ケチハナラス。故ニ造船獎勵法ヲ改ムルニ方ツテモ矢張り今日ノ如キ獎勵方法ヲ繼續シテ其金額ヲ相當ニ減スルコトヲ適當トスル。

三 普通製鐵業獎勵ノ範圍

製鐵業獎勵法案ノ内容ヲ略述スレハ、獎勵ヲ加フヘキ事業ヲ年額三萬五千圓以上ノ生産設備ヲ有

スル新設又ハ擴張ノ事業ニ限り、只タ低燐銑鐵ノ場合ニハ之ヲ三千五百噸以上ノ事業トシ、擴張事業ノ場合ニハ開業後十年ヲ經サルモノニ付テ其ノ十年ニ達スルマテ獎勵ヲ加ヘ、又其獎勵方法ハ一般ニ營業稅所得稅及地方稅ヲ免除スルコトト、製鐵業ニ必要ノ機械其他ノ材料ヲ輸入スル場合ニ其輸入稅ヲ免除スルコトトアルカ、特ニ製銑ヲ行フ所ノ事業ニ對シテハ工場ノ敷地ヲ得ル爲メ土地收用法ニ由リ他人ノ土地ヲ收用又ハ使用スルノ權利ヲ附與スルコトトシタ。元來製鐵業ハ重量容量ノ大ナル石炭及鑛石ヲ材料トスル故、交通運輸ノ便利ナル場所ニ之ヲ設立スルコトヲ必要トスルガ、年額三萬五千噸以上ト云フカ如キ規模ヲ有スル製銑事業ハ勿論内地ノ鐵鑛ニ依頼スルモノテナクテ、之ヲ外國就中支那ヨリ輸入スルコトヲ必要トシ、又此ノ如キ事業ハ可ナリ多クノ石炭ヲモ外國ヨリ輸入スルノ必要カアリ、從ツテ其輸入ニ便利ナル海岸ニ沿フテ工場ノ敷地ヲ得ルノ必要カアル。然ルニ此ノ如キ適當ノ沿海地ハ甚タ局限セラレテ居ルカラ、之ニ對シテハ土地收用法ヲ適用スルノ特權ヲ與フルコトトシタノテアル。法案ノ定ムル獎勵方法ハ前ニ述ヘシ如ク當ヲ得タモノテアルガ、獎勵ヲ加フヘキ事業ノ範圍ニ付テハ尙ホ研究ノ餘地カアリ、議會ニ於ケル論爭モ此點ニ集中セラレツツアル。

普通ノ製鐵業ニ付キ政府案ハ年額三萬五千噸以上、即チ一日百噸以上ノ生産設備ヲ有スル事業ニ限リテ獎勵ヲ加ヘ、數千噸ノ生産能力ヲ有スルニ過キササル小規模ノ事業ヲ獎勵シナイコトトシタ。

此ノ三萬五千噸ナル數字カ果シテ適當ナリヤ、或ハ三萬噸若クハ二萬五千噸等ヲ以テ適當トセサルヤト云フカ如キ獎勵事業ノ限界ヲ決定スルコトハ主トシテ技術上ノ考量ヲ要スル問題テアルガ、相當ニ大ナル規模ノ事業ニ限リテ獎勵ヲ加フルノ主義ハ當ヲ得タモノテアル。蓋シ製鐵業モ一般工業ト同シク大規模ニ經營スレハ生產費ヲ節約スルノ利益カアル。輒近歐米ニ於テ製鐵業ハ大ナル合同組織ニ由ルモノカ多クナツタガ、今次ノ戰爭ニ由リ製鐵業ニ對シテ行ハレタ工業動員ハ益其規模ノ擴張ヲ促カシ、其合同組織ヲ強大ナラシムル傾カアル。故ニ我國カ之ニ對抗スルノ能力アル製鐵業ヲ起サントスレハ、其規模ヲ相當ニ大ナルモノトセネハナラヌ。特ニ製銑ヲ基礎トスル大規模ノ製鐵業ヲ我國ニ起サントスレハ主トシテ支那ヨリ鐵鑛ヲ得ルコトヲ必要トスルガ、近キ將來ニ於テ支那市場ニ多量ノ鑛石ノ賣買取引セラルルニ至ルコトハ望ミ難キ故、製鐵業者自身ニ支那ノ鐵鑛ヲ開發スルコトヲ必要トシ、從ツテ之カ爲メニ多大ノ資本ヲ投セネハナラヌ。又製銑ト製鋼トヲ問ハス一般ニ製鐵業ヲ營ムニハ、石炭ニ付テモ全部之ヲ市場ヨリ購入シテ事業ヲ營ムコトハ甚タ不利テアツテ、其ノ重ナル部分ヲ自給スルノ方法ヲ講セネハナラヌガ、是亦多大ノ投資ヲ必要トスル。此等ノ事情ヲ考フレハ今後我國ニ起スヘキ普通ノ製鐵業ハ相當ニ大ナル規模ノモノテナクテハナラヌ。

小規模ノ製鐵業ヲモ獎勵スヘシトノ說ハ可ナリ有力テアツテ、目下議會ニ於ケル大勢モ之ニ傾イ

テ居ルヤウテアルガ、其論據ニ至テハ人ニ由テ同一テナイ。或ハ新設擴張ノ事業ノミヲ獎勵シテ古クヨリ存立セル小規模ノ製鐵業ヲ顧ミサルハ不公平ナリトノ理由ヨリ此說ヲ主張スル者モアルガ、此理由ノ當否ハ後ニ獎勵スヘキ事業ノ範圍ヲ政府案ノ如ク創立擴張後十年ヲ經過セサルモノニ限ルヘキヤ否ヤヲ論スルニ方ツテ述ヘル。二三萬噸以上ノ能力ヲ有スル製鐵業ヲ起スニハ多大ノ資本ヲ固定スルコトヲ必要トスルモノテアルガ、一部ノ論旨ハ我國ニ資本ノ缺乏セルコトヲ理由トシテ一層小規模ノ製鐵業ヲ發達セシムルノ適當ナルコトヲ主張スル。我國ハ今尙ホ資本ニ付テハ貧弱ナリト云フコトヲ適當トスルトハ云ヘ、今日ハ最早ヤ二三萬噸以上ノ製鐵業ヲ起スニモ困難ヲ感スル程我國ノ資本力缺乏セリト主張スルコトハ不當デアル。

小規模ノ製鐵業獎勵ノ理由トシテ更ニ有力ナルモノハ、國內ノ鐵礦ヲ利用スル所ノ小製鐵業ヲ隆盛ナラシムヘシト云フノテアル。此說ニ由レハ我國ハ石炭ノ產出カ特ニ豊富ト云フヲ得サルノミナラス、其炭質モ製鐵ニ適當ト稱シ難キ故、今後ハ各地ニ存在スル所ノ比較的小馬力ノ水力ヲ低廉ニ利用スル所ノ電氣製鐵ヲ起スコトヲ適當トシ、從ツテ國家モ之ヲ獎勵スルノ方針ヲ採ラチハナラヌ。加之我國ニハ鐵礦カ貧弱テアルト稱セラレルガ、未タ完全ナル地質上ノ調査探險カ行ハレテ居ナイカラ、果シテ其ノ貧弱ナリヤ否ヤモ確定シナイ。或ハ精細ノ調査探險ノ結果意外ニ豊富ナル鐵礦ヲ發見スルカモ知レヌ。之ヲ探險スルニ付テハ政府モ充分ノ力ヲ盡サチハナラヌガ、

最も有力ナル自然的方法ハ各地ニ小規模ノ製鐵業ヲ起スコトヲ有利ノ事業タラシメ、世人ヲシテ營利ノ關係ヨリ進ンテ鐵鑛ノ調査探險ヲ行ハシムルコトアル。而シテ此ノ如ク小製鐵業ヲ有利ノ事業タラシムルカ爲メニハ之ニ獎勵ヲ加フルヲ必要トスルト云フノテアル

何人モ今後我國ニ豐富ナル鐵鑛ヲ發見スルノ絶無ナルコトヲ斷言スルヲ得マイガ、併シ専門家ノ意見ハ今日マテノ研究ノ結果ニ由リ我國ハ鐵鑛ニ貧弱ナル國テアルト云フニ傾イテ居ル。從ツテ鐵鑛ノ發見ニ望ヲ繫キテ其調査探險ヲ進メル爲メニ小製鐵業ヲ保護スヘシト云フ説ハ有力ト云フヲ得ナイ。又諸所ノ山間僻地ニ於テ低廉ナル水力ヲ利用シ、價格ノ高キ特種鋼ヲ生産スル所ノ特種製鐵業ハ今後或程度マテ發達スルテアラウガ、此ノ如キ交通不便ノ地ニ於テ他地方又ハ外國ノ原料ヲ取寄セテ普通製鐵業ヲ營ムコトヲ有利トスル場合ハ稀有ノ例外テアラウ。國防上平素ヨリ鐵鑛ノ調査探險ニ力ヲ盡シ、且ツ貧弱ナル鑛石ヲ有効ニ利用スルノ方法ヲ講究シテ置クコトハ、一朝外國ヨリ製鐵原料ノ輸入ノ困難トナツタ場合ニ備フルカ爲メニ必要テアルガ、小製鐵業ヲ獎勵シテ只サヘ缺乏セル國內ノ鐵鑛ヲ使用シ盡スコトハ、國防上ヨリ見テモ得策ト云ハレナイ。左レハ世間ニハ論者ノ説ニ反對シテ一朝有事ノ日ニ備フルカ爲メ國內ノ鐵鑛ヲ國有トシテ平素ハ其探掘ヲ制限スヘシト主張スル者モアル。我國カ戰爭ノ際ニ對島海峽ノ交通ヲ遮斷セラレ、從ツテ滿鮮方面ヨリ鐵ヲ輸入スルコトモ不能トナルガ如キコトハ容易ニ想像セラレナイ。故ニ國防上ノ

見地ヨリ國內ノ鐵鑛ヲ保存スルコトノ必要ナルヤハ疑問トセサルヲ得ナイ。國防上夫レ程ノ損失ヲ忍ビ得ヘシトスレハ、寧ロ平素ヨリ公共ノ諸工事ニ成ルヘク多ク鐵材ヲ使用シ又其貯藏ヲモ豊富ニシテ置キ、一朝有事ノ日ニハ木石材料ト取代ヘテ其鐵材ヲ軍需ニ轉用スルコトカ一層經濟的テアツテ又技術上ニモ有效テアラウ。只タ經濟上ヨリ見テ内地ノ鐵鑛ヲ使用スル所ノ小製鐵業ハ、益大規模トナリツツアル諸外國ノ製鐵業ノ競爭ニ堪ユル力カナイカラ、人爲的ニ之ヲ助長スルコトハ不當ト云ハネハナラヌ。

政府案ノ採用セル獎勵方法ハ保護關稅ノ如ク國內ノ鐵價ヲ高カラシムルノ弊ナク、又實際上國庫ニ負擔ヲ生スルモノデモナイ。故ニ假令ヘ小企業ヲ獎勵スルコトカ獎勵ノ範圍ヲ廣キニ失セシムルノ嫌アリトシテモ、之カ爲メ他ニ別段ノ累ヲ及ホスコトナク、單ニ獎勵カ無效トナルト云フマテアル。加之小企業ハ將來世界ノ競爭ニ對抗スルヲ得ナイトシテモ、今日獎勵ニ由テ成立セル小企業ノ中ニハ漸次發展シテ生存能力アル大企業トナルモノモ起ルテアラウ。故ニ其獎勵ヲ初メヨリ大企業ニ限定スルノ必要ハナイトノ説モアル。併シ乍ラ人爲ノ獎勵ノ結果小企業カ多數成立スルトキハ、後日ニ至リ其ノ失敗ニ終ルノ危險ハ其ノ成功ノ望ヨリモ遙カニ大デアルト考ヘ得ル上ハ、財政上ニ負擔ヲ生シナイカラトテ妄リニ之ヲ獎勵シテハナラヌ。其事業ニシテ失敗ニ終レハ其レ丈ケ一國ノ資本ヲ無益ニ消耗スルノ不利ヲ生スルハ勿論テアルガ、失敗ノ危險ノ大ナル事

業ヲ助長スルノ弊ハ決シテ茲ニ止マラナイ。國家ノ保護ニ由テ成立セル多數ノ小企業カ悲境ニ沈マントスレハ必ラス保護獎勵ノ程度ヲ増大スルノ運動カ起ルノテアルガ、誤ツテ過小ノ事業ノ成立ヲ助ケタ所ノ國家ハ之ニ對シテ無責任ナル傍觀的態度ヲ探ルコトハ出來ナイ。結局國民ハ大ナル負擔ヲ忍ンテ時勢ニ不適當ナル多數ノ小企業ヲ維持セシハナラヌコトナルテアラウ。論者ノ云フカ如ク獎勵ノタメニ成立セル小企業ノ中ニハ大企業ニ發展スルモノモナイテハアルマイガ、併シ大規模ナル世界ノ製鐵業ニ對抗シテ此ノ如キ發展ヲ爲シ得ルモノハ極メテ少數テアツテ、其ノ大多數ハ悲境ニ沈ミ、之カ爲メ永ク國家ニ累ヲ及ホスコトナルテアラウ。是レ製鐵業ノ獎勵カ財政上ノ負擔ヲ生シナイカラトテ妄リニ獎勵ノ範圍ヲ擴張スルヲ得サル所以テアル

最後ニ政府案ノ如ク新設擴張後十年ヲ經過シタル製鐵業ニハ獎勵ヲ與ヘナイトスルノハ甚タ不公平テアルト主張スル論者カアル。而シテ保護關稅ニ由リ國內ノ鐵價ヲ高カラシムルトキハ、事業ノ新舊ノ別ナク凡テノ製鐵業カ一樣ニ保護セラルコトナル故、此種ノ論者ノ中ニハ保護關稅ノ増加ヲ主張スル者カ少ナクナイ。併シ乍ラ製鐵業ニ獎勵ヲ加フルハ之ニ特別利益ヲ得セシムル爲メテナク、之カ成立維持ニ必要ナル普通ノ利益ヲ得セシムルカ爲メ已ムヲ得スシテ行フ所テアル。故ニ特別ノ獎勵ナクシテ多年能ク存立ヲ保チ、特ニ此戰爭ニ由ル鐵價ノ暴騰ノ爲メニ大ナル利益ヲ得テ益其基礎ヲ鞏固ニスルコトヲ得タル在來ノ製鐵業ニハ新タニ獎勵ヲ加フヘキ理由カナイ。

論者カ在來ノ事業ヲモ獎勵スヘシト主張スル所以ハ、政府案ノ如キ獎勵法ノ下ニ於テ設立セラルヘキ新事業ハ何レモ大規模ノモノデアリ、從ツテ大資本家ノ手ニ由リ經營セラルルコトナルヘキカ故ニ、國家ノ保護ナクトモ能ク成立シ得ヘキニ反シ、古クヨリ存立スル小規模ノ製鐵業ハ大規模ノ新事業ノ競爭ト戰後ノ外國競爭トニ由リテ苦境ニ陷ルノ虞アル故、之ヲ保護セサルヘカラスト考ヘル爲メデアラウ。今後設立セラルヘキ事業ハ大規模ノモノテナクテハナラヌガ、事業ノ規模ノ大ナルカ爲メニ獎勵補助ヲ要セスト云フハ理由カナイ。若シ今日何等ノ保護獎勵ノ方法ヲ設ケナカツタナラハ、戰後ニ於ケル先進國ノ競爭ヲ恐レテ何人モ製鐵業ノ新設擴張ヲ行フニ躊躇セサルヲ得ナイ。製鐵業ハ固定資本ヲ要スル割合ノ大ナルモノデアルガ、其固定資本トナルヘキ諸材料ノ暴騰セル今日ニ於テ事業ノ新設擴張ヲ行フトキハ生産力ノ割合ニ資本ヲ要スルコトカ甚タ大トナル故、此際何等ノ補助ナクシテ製鐵業ヲ起スコトハ特ニ困難デアツテ、論者ノ主張スル如ク大資本家ハ何等ノ補助ナクトモ製鐵業ヲ起スヘシト云フハ誤ツテ居ル。又戰爭前ニ於テ我市場ニ外國ノ競爭カ激烈ニ行ハレタニ係ハラス、鐵鑛燃料販路等ニ付テ特ニ有利ノ地位ニ立テルカ爲メ能ク之ニ對抗シテ十年ノ歲月ヲ經過シタルカ如キ小規模ノ製鐵業カ、今後大規模ノ事業ノ成立ノ爲メ特ニ不利ニ陷ルトハ考ヘラレナイ。新設ノ事業カ如何ニ順調ニ進ンテモ其ノ舊事業ニ對スル競爭ノ程度カ、過去ニ於ケル外國競爭ヨリモ更ニ激烈ニ行ヒ得ルホドノ進歩ヲ爲シ得ルトハ

考ヘラレナイ。又假リニ其ノ競争ノ激烈トナレル爲メ小規模ノ舊事業カ困難ニ陥ルコトカアリトスレハ、是レ此ノ如キ小規模ノ事業カ時勢ノ進歩ニ伴フヲ得サル不適當ノモノテアルコトヲ證明スルモノデアツテ、勿論其ノ外國競争ニ對スル抵抗力ハ一層弱イノテアルカラ、此ノ如キ時代後レノ事業ヲ保護スルノ必要ハナイ。

四 特種製鐵業ノ獎勵

普通ノ製鐵業ノ生産ニ係ハル比較的粗大ノ生産物ノ少ナカラサル部分ハ、更ニ之ニ加工シテ特種ノ品質形態ヲ與フル所ノ特種製鐵業ノ手ヲ經ルコトヲ要スル。此種ノ製鐵業ハ普通ノ製鐵業ノ如ク巨大ナル資本ノ力ニ多ク依頼スルヨリモ寧ロ特別ノ技能熟練ノ力ニ多ク依頼スルモノテアル故、普通ノ製鐵業トハ分離シテ獨立ニ之ヲ經營スルコトヲ利益トシ、其規模モ概シテ普通製鐵業ノ如ク大ナルヲ要シナイ。國防上及經濟上ノ見地ヨリスレハ普通製鐵業ヲ國內ニ發達セシムルノ必要ナルト同シ理由ニヨリ、特種製鐵業ヲモ國內ニ發達セシメテハナラヌ。其ノ爲メニハ模範工場タル官設製鐵所ノ研究ト技術者養成トカ固ヨリ重要テアルガ、單ニ之ノミニ依頼シテ其發達ヲ待ツコトハ得策テナイ。今後官設製鐵所ノ爲スヘキ事業ハ非常ニ多ク、特ニ目下甚シク缺乏セル銑鐵ノ如キモ官設製鐵所ノ急速ノ擴張ニ由ルノ外ニ供給増加ノ方法ヲ見出シ難イ。故ニ特種製鐵業ニ付

テハ官設製鐵業ヲシテ事情ノ許ルス限リ努力セシムルト同時ニ、普通製鐵業ト同様ノ方法ニ由リテ民間事業ニ獎勵ヲ加ヘ、官民共ニ之カ發達ニ力ヲ盡スコトヲ得策トスル。只タ此種ノ製鐵業ハ普通ノ製鐵業ノ如ク大規模ナルヲ必要トセサルノミナラス、其生産品ノ價格ハ普通製鐵業ノ夫レニ比シテ頗フル高價ナルカラ、獎勵ヲ加フヘキ事業トシテ年産額二三萬噸以上ト云フカ如キ巨大ノ標準ヲ立テルコトハ當ヲ得ナイ。之ヲ其十分ノ一又ハ夫レ以下ノ適當ノ程度ニ引下クルコトヲ要スル。

特種製鐵業ハ大體二種ニ分レル。一ハ特種鋼、低燐銑、合金銑、高炭素及具鋼ノ如キ特種ノ品質ヲ有スル材料ヲ生産スル事業テアリ、他ハ薄鐵板ノ如キ特種ノ形體ヲ有スル鐵材ヲ生産スル事業テアル。政府案ハ特種製鐵業ニ付テハ單二年産額三千五百噸以上ノ生産能力ヲ有スル低燐銑生産事業ヲ獎勵スルコトトシタガ、何故ニ其他ノ特種製鐵業ニ獎勵ヲ加ヘサルヤノ理由ヲ見出スヲ得ナイ。成ルホド低燐銑ハ兵器ヲ造ルニ最も多ク需用スル所テアルガ、併シ兵器及軍需品ノ複雑トナレル今日ニ在テ國防ノ獨立ヲ保タントスレハ單ニ低燐銑ノ自給ヲ圖ルヲ以テ足レリトシナイ。又低燐銑ハ最も多ク陸海軍ニ於テ需用スルモノテアルカラ、之ニ對シテハ別ニ一般的ノ獎勵制度ヲ設ケストモ、陸海軍ノ造兵制度ノ運用ニ由テ民業ヲ助長スルコトカ必シモ困難テナイカ、他ノ特種ノ銑鋼ハ之ト事情ヲ異ニスル故、之ニ對シテハ特ニ獎勵制度ノ必要ヲ感スルノテアル。次ニ

葉鐵、電鍍板、珙瑯鐵器等ノ材料タル薄鐵板ハ國內ノ需用及輸出用ノタメ現ニ千萬圓以上ノ輸入ヲ爲シ、今後我工業ノ發達ト共ニ其需用カ著シク増加スルノ勢カアルカラ、之ヲ生産スル事業モ亦低燐銑特種鋼等ヲ生産スル事業ト同様ニ獎勵ヲ加フルコトヲ要スル。薄鐵板ノ生産ハ固ヨリ造兵制度ノ運用ニ由テ之ヲ助長シ得サルモノテアリ、又日英通商條約ニ由リ其輸入稅カ協定セラレテアルカラ、之ヲ國內ニ發達セシムルニハ特ニ免稅ノ如キ方法ニ由テ獎勵スルヲ必要トスルノテアルカ、更ニ注意スヘキハ其生産ニ要スル所ノ材料タル鋼片ノ供給ニ付キ、官設製鐵所カ特別ノ便宜ヲ與フルコトハ特ニ有力ナル獎勵方法トナルノ事實テアル。勿論民間ノ普通製鐵業カ大ニ發達シテ此種ノ材料ヲモ盛ンニ市場ニ供給スルニ至レハ、官設製鐵所カ特ニ之ヲ低廉ニ薄鐵板生産業ニ賣渡スコトハ所謂民業壓迫ノ結果ヲ生セサルヲ得ナイノテアルガ、近キ將來ニ於テ民間ノ普通製鐵業ハ大量ノ需用アル建築材料造船材料等ノ生産ニ全力ヲ注クコトトナルヘク、從ツテ官設製鐵所カ特種製鐵業ニ對シテ材料ノ廉價供給ヲ爲スコトニ由リ之ヲ助長スルノ政策ヲ實行スルノ餘地ハ充分ニ存スルテアラウ。